

- なお、平成8年3月には、医道審議会診療科名標榜専門委員会において「標榜診療科名の追加の考え方」が示されている。

＜標榜診療科名の追加の考え方（医道審議会診療科名標榜委員会：平成8年3月）＞

1. 独立した診療分野を形成していること

- (1) 医行為・歯科医行為であること
- (2) 診療分野が独自の学問領域として確立していること
- (3) 他の診療分野と整理・区分がなされていること

2. 国民の求めの高い診療分野であること

診療科名を標榜しようとする診療分野について、その医療需要が大きいか若しくは増大することが予想される分野であること、又は、国民の健康に重大な影響を有する分野であること

3. 国民が適切に受診できること

- (1) 診療科名が一般に分かりやすく、誤解を与えないこと
- (2) 受診する際に、診療科の適切で速やかな選択が図れること

4. 国民の受診機会が適切に確保できるよう、診療分野に関する知識・技術が医師又は歯科医師に普及・定着していること

- (1) 医師・歯科医師の養成課程に診療科名に対応する教育内容が取り入れられていること
- (2) 診療科名に対応する卒後の医学医術の向上を図れる体制が整っていること

4. 最近の状況（平成8年～）

医道審議会において平成8年に検討し、標榜診療科名とすることを保留した診療科名（平成8年3月27日医道審議会意見書）
（医業）

要望科名	要望団体
核医学科	日本核医学会
漢方科	日本東洋医学会
救急科	日本救急医学会
血液科（血液・腫瘍科）	日本血液学会、日本病院会
口腔咽頭科	日本耳鼻咽喉科学会
児童精神科	日本児童青年精神医学会
小児神経科（神経小児科）	日本小児神経学会
新生児（病）科	日本小児科学会
大腸肛門科	日本大腸肛門病学会

要望科名	要望団体
糖尿病科	日本糖尿病学会
内視鏡科	日本消化器内視鏡学会
内分泌代謝科	日本内分泌学会
乳腺科	びわの会
病理科（病理診断科）	日本病理学会
ペインクリニック科	日本麻酔科学会、日本ペインクリニック学会
臨床検査科	日本臨床病理学会
老人科	日本老年医学会

（歯科医業）

要望科名	要望団体
口腔インプラント科	日本口腔インプラント学会
歯科麻酔科	日本歯科麻酔学会、日本歯科医師会、日本歯科医学会

診療ネットワークを支える高度な医療機能を有する病院の必要性

【質の高い医療サービスを提供する診療ネットワークの構築における課題と対応の方向】

1. 以下の3つの課題について対応していくためには、診療ネットワークを支える高度な医療機能を有する病院の確保が必要。
 - (1) 圏域を越えた高度又は専門的な医療の提供をどのように確保していくのか。
 - (2) 都道府県内に複数ある診療ネットワークの医療水準をどのように向上させていくのか。
 - (3) 人的支援を通じた安定的な医療提供をどのように図っていくのか。
2. 上記の病院を適切に確保していく観点から、国及び都道府県がこれらの病院の位置づけに関わる仕組みについて検討。

(課題1) 圏域を越えた高度又は専門的な保健医療サービス提供

(主な論点)

- ◆ 高度な医療技術や専門性を必要とする治療など通常の圏域では継続的な対応が困難な医療需要に対し、どのように対応すべきか。
- ◆ 治療後の患者の日常生活への復帰をにらんだ医療連携をどのように構築していくべきか。
- ◆ 日常生活復帰後の再発に備えた医療連携をどのように構築していくべきか。

(課題2) 複数ある診療ネットワークの医療の質、水準の向上

(主な論点)

- ◆ 主要な疾病又は事業ごとに都道府県の医療の質、水準の向上、均てん化を図っていくことが必要ではないか。

(課題3) 人的支援を通じた安定的な保健医療サービスの提供

(主な論点)

- ◆ 診療ネットワークの医療サービスを安定的に提供するため、都道府県や高度な医療機能を有する病院による人的支援を推進していくべきではないか。

診療ネットワークと診療ネットワークを支える病院との関係<イメージ>

